



金沢レンタサイクル「まちなり」 社会実験について



金沢市交通政策部歩ける環境推進課



社会実験の位置づけ

2

自転車利用ニーズが高く、解決すべき課題の多い中心市街地を対象に、利用環境向上に向けた方針や具体的施策を整理し、22年度中に「金沢市まちなか自転車利用環境向上計画」を策定

【計画の基本コンセプト】

**「自転車を安全・快適に利用できるまち・金沢」
の実現を目指す**

- 自転車を公共交通と組み合わせた都市交通の一つとして再認識し、金沢のまちの特性に応じた市民・来街者の身近な移動手段として利用できる環境を整える。



【まちなか自転車利用環境向上の4つの柱】

(1) 「はしる」・・・自転車通行空間整備

- 自転車通行空間の安全性向上を図る



(2) 「とめる」・・・駐輪環境整備

- 便利で使いやすい駐輪環境の創出を図る



(3) 「つかう」・・・自転車利用促進

- 公共交通としての自転車利用促進を図る



(4) 「まもる」・・・ルール・マナー向上

- 自転車利用者のルール遵守・マナーアップを図る



🚲 社会実験の概要(1)

名称	金沢レンタサイクル「まちなか」史跡		
実験目的	①レンタサイクルの需要(利用目的、時間、頻度)の把握 ②サイクルポートの位置の妥当性の検証 ③本格導入時のシステム条件の構築		
実施期間	平成22年8月21日(土)～10月20日(水) 61日間		
運営時間	平日	7:30～20:30	休日 9:00～19:00
自転車台数	100台	ポート数	10箇所
登録料金	無料		
貸出料金	★1台の自転車を多くの人が気軽に利用できるよう、短時間の利用を低額に設定 貸出料金 = 基本料金 + 追加料金 【基本料金】200円/日、1,000円/日 【追加料金】1回の利用が30分を超える毎に200円		
登録方法	申込書記入、身分証明書提示、利用者カード発行		
登録場所	web、FAX、郵送、各ポート		



管理方法	有人管理(ポート管理員はシルバーさん)
貸出・返却	貸出券を利用者に発行し、返却時に貸出券を受け取り
集中管理	ポート係員が事務局へ連絡、フリーダイヤル電話を導入
個人認証媒体	利用者カード(紙カード)
料金収受	個人:現金、クーポン券(ホテルが発行) 法人:実験後に請求書送付
自転車車両	シティサイクル(新車、26インチ、変速機無、TSマーク、防犯登録)
ラック等	平置き



▲利用者カード



▲自転車



▲クーポン券(ホテルからの依頼により取り扱い)



【サイクルポート位置図】



【ポート配置の考え方】

- ①利用者が多い施設付近であること(市民、観光客)。
- ②まちなか歩行回廊沿線であること(回遊利便性の向上)。
- ③公共交通機関(鉄道・バス)への乗り換えが便利なこと。
- ④公共空間でのポート設置が可能であること。
- ⑤ポート間隔ができるだけ密になること(都心部では概ね300m間隔)

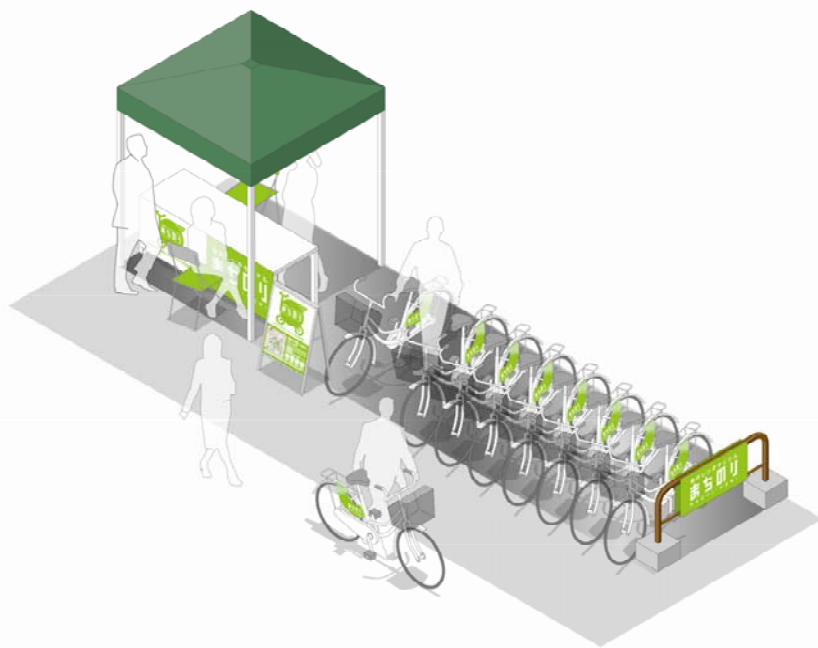


【各ポートで想定されるアクティビティ】 ◎: 主な利用行動、○: 補足的な利用行動

	通勤	買物	観光	施設	業務	備考
①金沢駅	◎	◎	◎	◎	◎	●鉄道や路線バスの二次交通として、全ての行動に対応。また、駅周辺施設利用者のニーズにも対応。
②武蔵	◎	◎	◎	○	◎	●通勤や日常の買物、観光等の利用を想定。近江町市場等の利用者や業務利用にも対応。
③文化ホール	○		○	○	◎	●文化ホール利用者や南町・香林坊界隈のビジネスマン等の利用を想定。業務利用にも対応
④香林坊	◎	◎	◎	◎	◎	●通勤や日常の買物、観光等の利用を想定。中央公園などの各種施設利用者や業務利用にも対応。
⑤21世紀美術館	◎	◎	◎	◎	◎	●美術館の利用や通勤利用を想定。四高記念館などの各種施設利用者や買い物利用にも対応。
⑥長町緑地			◎	○		●武家屋敷の観光利用を想定。長町研修館などの各種施設利用者にも対応。
⑦にし茶屋街	○	○	◎	○		●にし茶屋街、寺町の観光利用を想定。周辺住民の通勤や買物などにも対応。
⑧野町駅	◎		○			●通勤利用を想定。野町駅からまちなかへの買物や回遊等の利用にも対応。
⑨兼六園	○		◎			●兼六園の観光利用を想定。バスとの連携による通勤利用にも対応。
⑩東山	○	○	◎	○		●ひがし茶屋街や主計町茶屋街などの観光利用を想定。周辺住民の通勤や買物などにも対応。



【サイクルポートのイメージ】



▲金沢駅ポート



▲武蔵ポート



▲兼六園ポート



【サイクルポート・自転車の管理体制】

◆基本的な管理

- 各ポートへの係員の配置により対応
 - ・人員数 : 1名/ポート×10ポート(2交代制)
 - ・作業内容: 自転車の整列、空気入れ
利用方法の説明、利用者カード・貸出券・領収書発行
ポートの自転車台数の連絡 など

◆自転車の調達・点検・修理

- 石川県自転車軽自動車事業協同組合(金沢支部)の協力を得て、
自転車をレンタル、定期点検・緊急修繕も依頼
社会実験後、リサイクルし、環境フェスタで販売

◆自転車の再配置

- 各ポートの係員がポートの自転車台数を本部に連絡して、本部が調整
本部は運送会社へ運搬を指示



【レンタサイクル運用における配慮事項】

◆違法駐輪への対応

- 警備員を配置

◆まちのり利用マナー向上対策

- 街頭指導を実施
- 利用登録時に自転車の交通ルールの遵守について承諾を得る

◆悪天候時の対応

- 小雨決行、荒天の場合は中止 ※台風で半日休止

◆夜間の対応

- 盗難防止のため、ワイヤーロックで自転車をまとめて施錠

◆緊急時の対応

- コールセンターを設置



【広報媒体とその内容】

媒体	内容
チラシ	・A4両面、フルカラー
マップ	・A4両面、フルカラー
ポスター	・B2片面、フルカラー
ホームページ	・社会実験専用 ・観光情報HPとのリンク
うちわ	・事前PR用
Tシャツ	・ポート管理員着用
ぼうし	・ポート管理員着用
自転車	・ドレスガード
ポート案内看板	・各ポートに設置
出発式	・自転車をポートへ搬送
街頭PR	・企業従業員向け
報道対応	・随時



▲チラシ(裏面は登録申請書)



▲マップ(裏面は「まちのり」概要)

※ホテル・旅館、観光情報施設、まちなかの企業・町会・商店街など幅広く広報を実施



実施日数	61日(台風のため半日のみ休止)				
会員登録数	6,230件	延べ利用回数	21,622回		
1日平均利用回数	(全体)354.5回/日	(平日)354.5回/日	(休日)354.5回/日		
最大利用回数	—	(平日)659回(9/24)	(休日)959回(9/19)		
回転率	(全体)3.55回/台日	(平日)3.02回/台日	(休日)4.61回/台日		
平均利用時間	15分/回	未返却台数	0台	事故件数	0台

※「1日平均利用回数」=延べ利用回数÷実施日数

※「回転率」=1台あたりの1日の利用回数=1日平均利用回数÷自転車台数

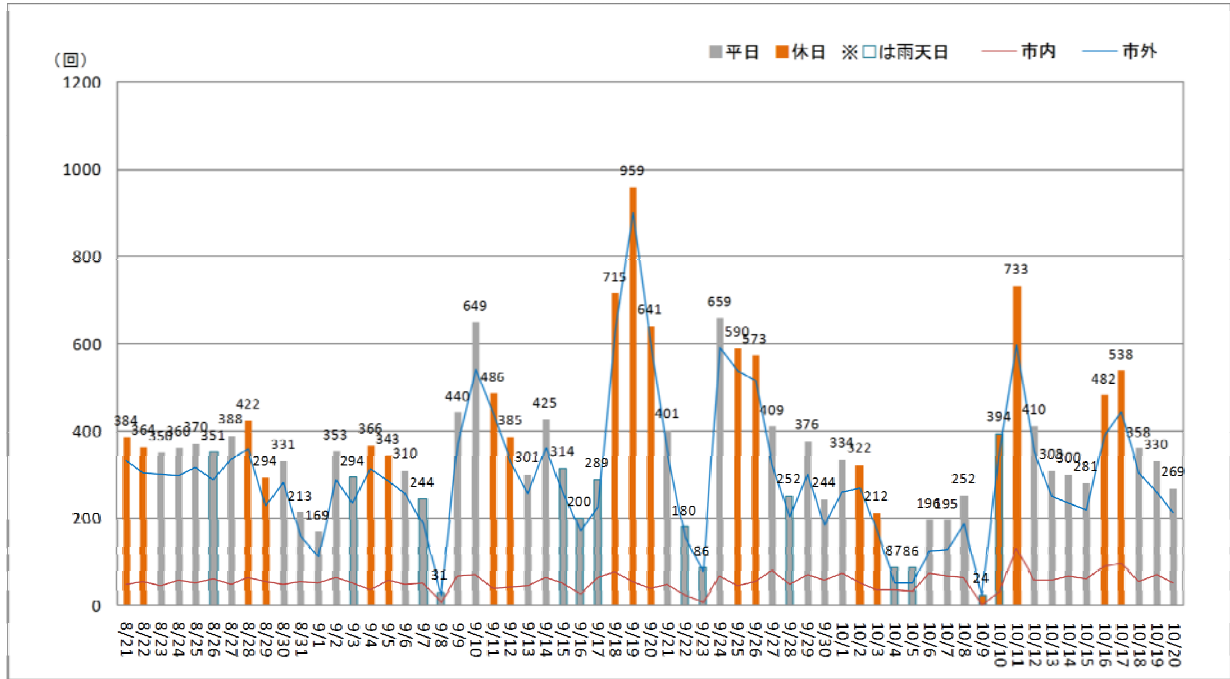
▼会員登録の内訳

会員種類	登録形態	登録数(件)	構成比
個人会員	社会実験専用WEBサイト	376	6.0%
	郵送・FAX	518	8.3%
	自転車ポートでの当日発行	5329	85.5%
法人会員	社会実験専用WEBサイト	7	0.1%
合計		6230	100.0%

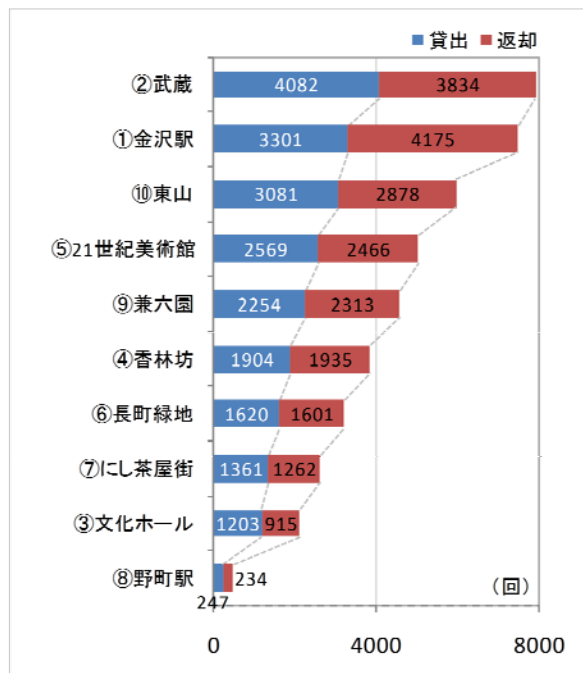


▼自転車利用回数の推移

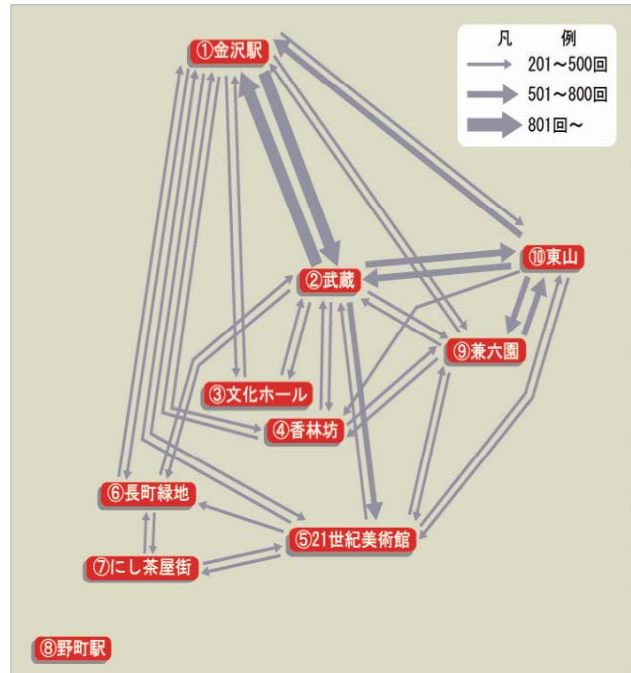
市内居住者は平日・休日に関わらず一定の利用、市外居住者は休日・休前日に増加の傾向



▼ポート毎の貸出・返却回数



▼ポート間移動状況



※①金沢駅・②武蔵間の双方向移動が最多(往復で2,205回)



<自転車の不足台数について>

- 「不足台数」は、当該ポートですぐに貸出できなかった人数をカウント
- 自転車の利用回数と不足台数には相関関係が見られた
- 自転車の不足が発生したのは、37日間であり、その平均台数は14.4台
- 実験期間中、最も利用回数が多かった9月19日(日)には不足台数は127台

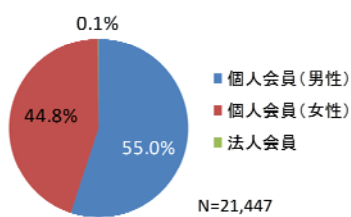
<自転車の再配置について>

- 再配置は、運送会社の軽トラックで実施(最大積載台数4台)
- 1日当たりの平均再配置回数は約12回、50台を運搬
- 午前は他のポートから金沢駅へ、午後から夕方は金沢駅から他のポートへ運搬

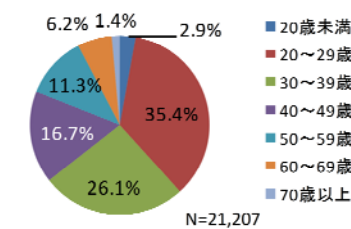


<利用者特性>

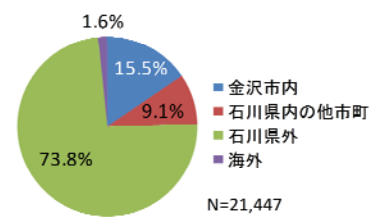
▼性別・会員種類



▼年齢階層



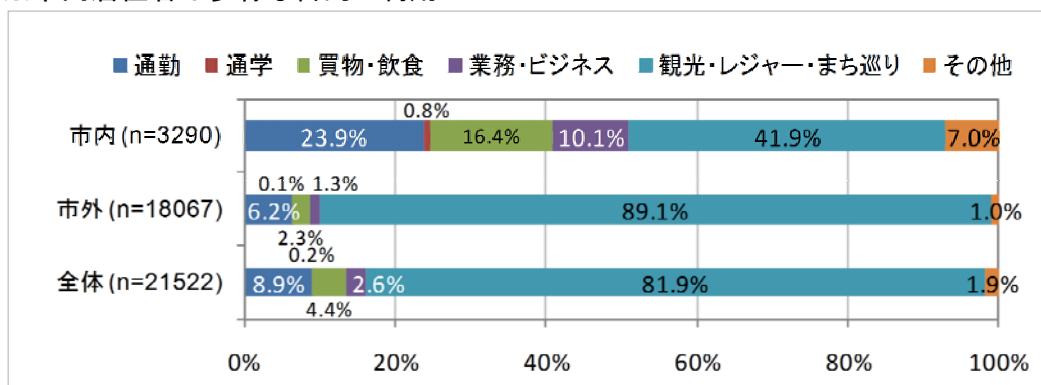
▼居住者



▼利用目的

※市外居住者の89%が「観光・レジャー・まちめぐり」

※市内居住者は多様な目的で利用





<アンケート調査>

【調査概要】

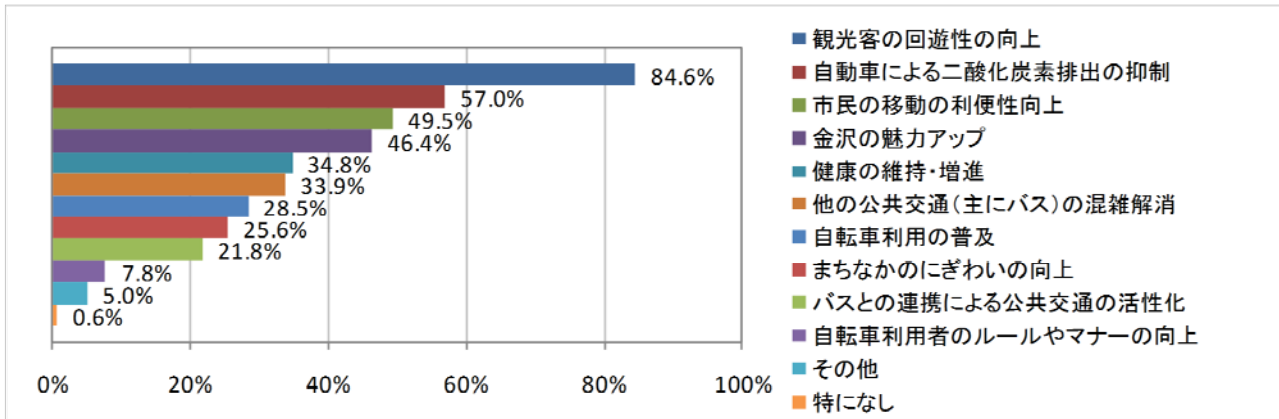
調査対象者:「まちなり」会員(海外在住者等を除く)

調査方法: 郵送での配布回収

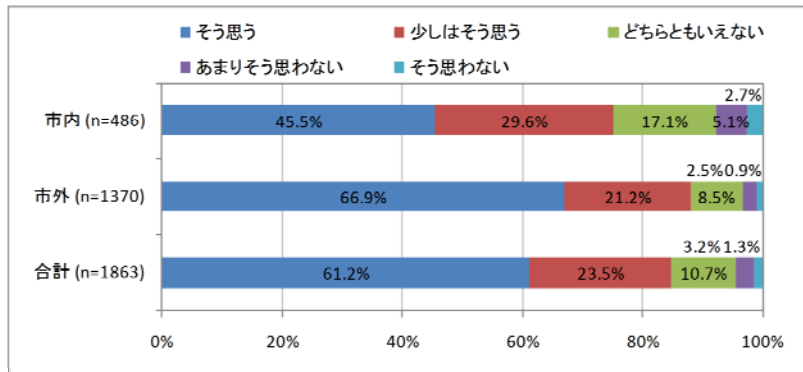
配布・回収状況: 配布数6,011件、回収数1,891件、回収率31.5%

【調査結果】

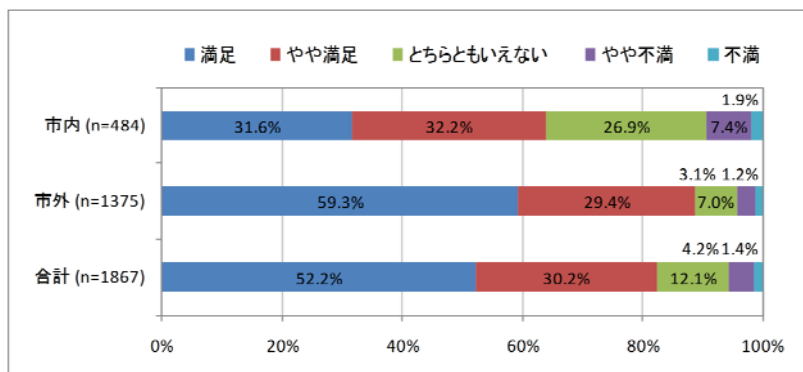
▼「まちなり」の効果



■ サイクルポート位置の評価 回答者の85%が妥当

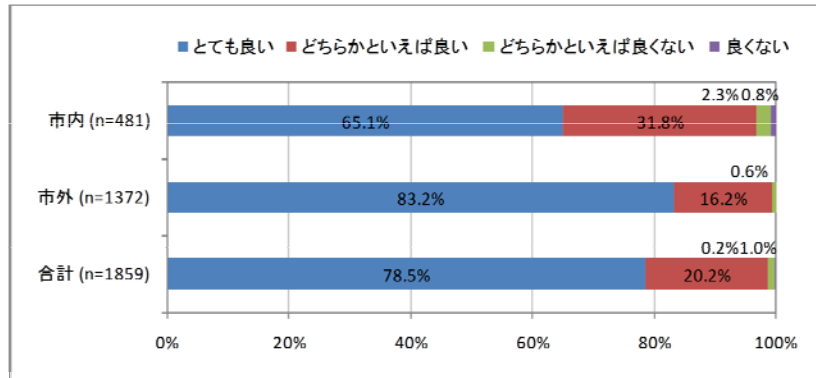


■ 社会実験全体の評価 回答者の82%が満足

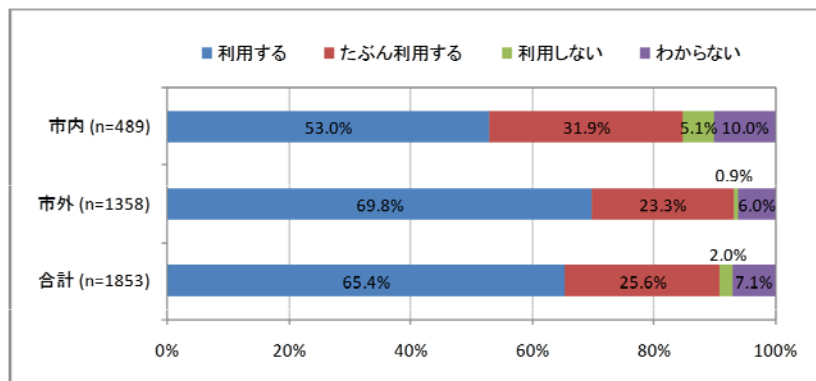




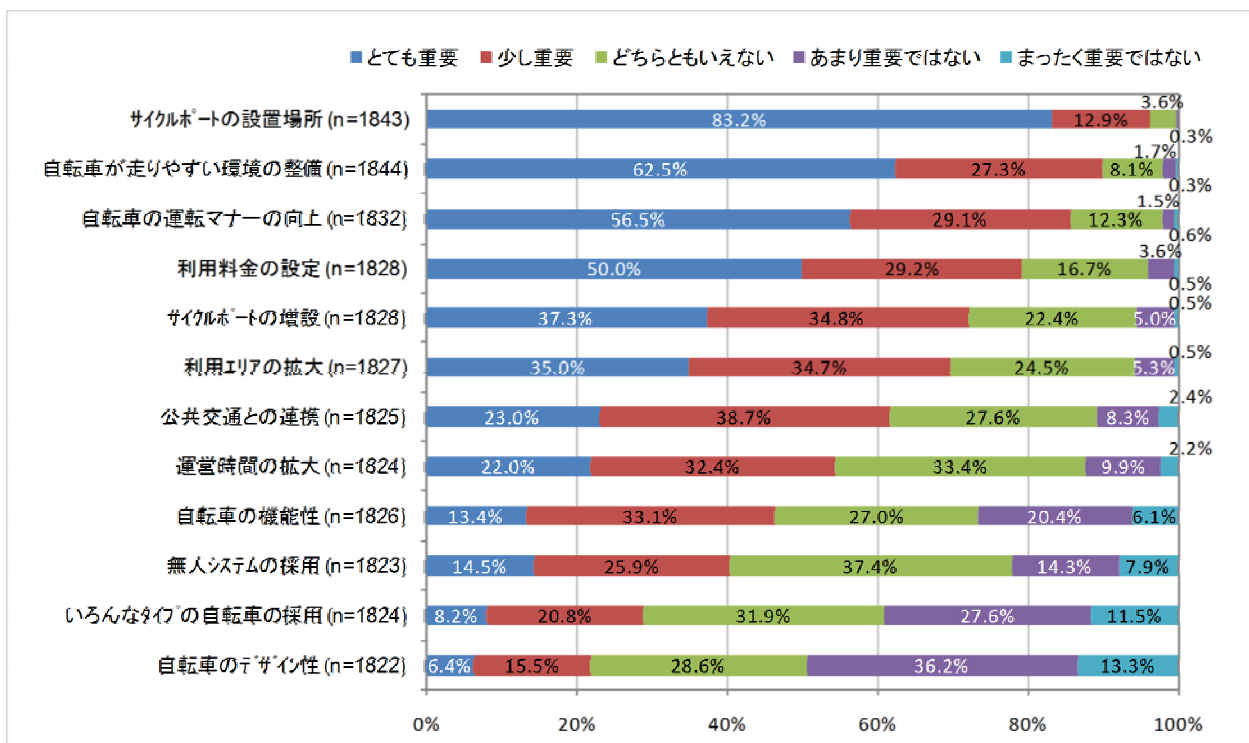
■ 本格実施に対する意識 回答者の99%が良い



■ 本格実施後の利用意向 回答者の91%が利用意向あり



▼ 本格実施における重要度





利用実績やアンケート結果などを踏まえ、本格実施の方向性を検討

検討項目	本格実施の方向性
①サイクルポートの数や配置	利用が集中する箇所や新たなニーズの掘り起こし等を見据えて増設を検討
②自転車の台数や種類	利用回数や不足台数を踏まえて台数を検討／カゴと変速機の設置を検討
③サイクルポートの管理方法	費用面で有利な無人システムの検討／利用者が多いポートでの有人対応検討
④会員登録及び個人認証方法	多様な登録方法の採用検討／会員カード・ICカード等での個人認証検討
⑤料金設定	社会実験と同じ料金体系／料金設定は利用者評価を踏まえて判断
⑥料金收受方法	クレジットカードを基本とし、電子マネーや現金への対応も検討
⑦運営時間	平日・休日とも7:30～20:30を基本とする
⑧その他	併せて、自転車の走行環境整備・自転車の運転マナー向上が必要

●持続可能なシステムとするため採算性の向上についての検討が必要